

草の根活動 交流NEWS ⑧5300人最高の峰へ	第760号 2026年8月27日 会員数158万3382人 読者数 5112人	消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp
---	--	---

最高現勢まであと188人



厳しい残暑が続いています。地震被害に遭われた熊本の皆さんや豪雨災害に遭われた千葉の皆さん、猛暑、酷暑の中での復旧作業や支援活動、十分にお気をつけてください。「なくす会」からわざわざばかりのお見舞金を送らせていただきました。さて8月もあと残すところわずかとなり、第37回総会まで1カ月ちょっとです。「見本誌を送ってください」「地域の会を再建します」など嬉しい連絡が入っています。秋の臨時国会でいよいよ消費税減税が本格的に審議されます。飲食料品1%減税や給付付き税額控除の問題点を明らかにし、一律5%減税を実現させましょう。そのためにも会報読者を増やしましょう。

地域の会を再建

岩手の会

岩手の会は20年ほど休眠状態だった「滝沢の会」を再建しました。藤村事務局長が7月、民商の滝沢班の班会に参加して消費税の話をし、会報の購読を訴えました。そこに参加していた盛岡民商の会長が快く読者になってくれました。会長は看板屋さんを経営。消費税に苦しめられ、中東情勢の悪化で塗料などが値上がりして苦しい経営に追い込まれています。

藤村事務局長はあらためて民商の会長に「なくす会を再建したらどうだ」と投げかけ、「なくす会」の活動の進め方を話し、「まずは宣伝からやろう」と動き出しました。総会に向けて会報読者を110人にすることを目標にかかげ、あと13人に迫っています。加入リーフ30部、見本誌30部、購読申込書100部を注文。拡大にギアを上げています。

被災者支援とともに街頭宣伝

熊本の会

7月28日、震度7の地震が襲った熊本県。1カ月が過ぎようとしていますが、今なお2千人ほどが避難所生活を余儀なくされています。震災直後、西川常任世話人は被害が大きかった宇城市に支援に入り、水道・電気が不通で家屋が軒並み倒れている状況を目の当たりにしました。

全国からボランティアの人たちが駆けつけ、家中の片づけなどを支援しています。熊本地方は酷



暑日が続く、雨が降らずに水不足に見舞われ、農作物が枯れて農家の人たちは深刻な状況に陥っています。新婦人が行っている

産直も野菜不足のため中止に。そんな中でありますが、8月24日は熊本市内で定例宣伝を行いました。「飲食料品の1%減税は物価対策にならない」と批判の声が寄せられる一方で「消費税は社会保障の財源なので減税しなくてもいい」との声があり、「対話」がいつそう大事になっています。

パンフが好評です。

「消費税減税・廃止で未来の希望を」のパンフが好評です。佐賀県「武雄9条の会」から10部を送ってほしいと電話がありました。「しんぶん赤旗」の広告を見たそうで、9条の会で広げたいとのこと。高知の会は大門みさし参院議員を読んだ後の学習会を開く計画です。参加者にパンフを手渡すことを決め、「足らなくなったので150部を送ってほしい」と追加注文がありました。



宣伝誌は無料。どしどし注文してください！パンフの注文もお願いします。